

平成21年度年間指導計画

学期	月	学習項目等	学習のねらい	備考
1 学期	4	・オリエンテーション ・表計算ソフトの機能と操作(エクセルの基本操作) ・課題研究に向けた演習 ・データの入力と訂正 ・表の保存と読み込み	授業内容の理解 表計算ソフトの機能と操作理解 データの種類と入力方法等理解 ファイルの取扱理解 演算子、セル番地の理解	提出物(A・C)
	5	・計算式の入力 ・表の編集と印刷 ・基本的関数を使った計算 ・グラフ作成の基礎 ・基礎実習	書式の変更、罫線の利用と印刷 Sum,Average,max,min関数等の活用 グラフの種類と利用方法の習得 グラフを含んだ表の作成	試験(C,D)
	6	・応用的関数を使った計算 ・データベースの基礎	If,Lookup関数等の活用方法習得 データベースの概念理解 Rank関数、ソート方法の習得	提出物(A・C)
	7	・データベースの活用 ・データの検索、抽出 ・応用実習	データの検索と抽出方法習得 エクセル検定2級レベルの問題 Webと表のデータ交換方法	試験(B・C・D) 提出物(A・D)
	8	・エクセルの総復習	エクセルの総合的な理解	提出物(A・C)
	9	・応用的関数を使った計算 ・データベースの基礎	If,Lookup関数等の活用方法習得 データベースの概念理解 Rank関数、ソート方法の習得	提出物(A・C)
	10	・パワーポイントの基本操作 ・スライドの作成 ・スライドショー	文字の入力と編集方法習得 画像の挿入方法習得 スライドショーの方法習得	試験(B・C・D) 提出物(A・D)
	11	・プレゼンテーションの作成実習	課題研究計画発表用プレゼンテーションの作成	提出物(A・C)
2 学期	12	・プレゼンテーションの作成実習	課題研究計画発表用プレゼンテーションの作成	試験(B・C・D) 提出物(A・D)
	1	・プレゼンテーション ・ネットワーク ・webページの作成	パワーポイントによる総合実習(課題研究計画)の研究発表 ネットワークに関してその功罪を理解する 簡単なhtmlファイルの作成	提出物(A・C)
3 学期	2	・情報処理まとめ	平成22年度の課題研究のプレゼンテーション原稿を作成する	試験(C,D) 提出物(A) 研究発表(B)
	3	・情報処理まとめ	平成22年度の課題研究のプレゼンテーション原稿を作成する	提出物(A・C)

教科名	農 業	科目名	農業情報処理
履修学年	第2学年	学科	バイオテクノロジー科
単位数	3単位	必修・選択	必修教科目
教科書	農業情報処理(実教出版)	副教材	30時間でマスターOfficeXP(実教)
担当者	川島 一秀 ・ 滝澤 容子		

1 学習の目標
(1) 表計算ソフトによる情報処理の基礎的な知識と技術を身に付ける。 (2) プレゼンテーションソフトによる情報発信の基礎的な知識と技術を身に付ける。 (3) 課題研究のまとめと発表を上記ソフトを利用して行う能力を身に付ける。 (4) webページの作成をととして、情報発信について心得るべき態度や技能を身に付ける。
2 授業の進め方
(1) 授業は、コンピュータ室で実技を中心に授業を進めます。 (2) 知識的な内容も学習しますので、教科書を必ず持参してください。 (2) 3時間の授業のうち、1時間については、教科書の内容や課題研究に必要な統計的な知識を学習します。
3 学習の留意点
(1) 連絡がない時はコンピュータ室に集合すること。 (2) ノート・筆記用具・ファイルは必ず持参のこと。 (3) コンピュータ室では、消しゴムの使用を禁止しています。絶対に使用しないでください。
4 評価の観点・方法
(1) 定期試験では実技と筆記試験を行います。中間考査は、試験日程の関係で別日程となることがあります。 (2) 成果物は、授業の最後に必ず提出してください。 (3) 出席状況、授業への取組状況 (4) 年間授業計画「備考」欄のA～Dは、次の4つの観点で評価を行うことを表します。 A: 関心・意欲・態度、B: 思考・判断、C: 技能・表現、D: 知識・理解 以上の観点により総合的に評価します。
5 備 考
(1) 本科目は1年次に2単位で、パソコンの基本操作、ワープロ、図形処理、インターネットを学習し、2年次の2単位で表計算(エクセル)、プレゼンテーション(パワーポイント)、ホームページ作成を学習します。そして、3学年で履修する「課題研究」を行うための基礎的科目と位置づけています。 (2) 2学期(11月下旬)にワープロ検定があります。3級以上合格に向けて、放課後等を利用し勉強してください。

平成21年度年間指導計画

校長		教頭		教務		担当	
----	--	----	--	----	--	----	--

教科名	農業	科目名	農業情報処理	単位数	3単位	必修・選択	必履修科目
教科書	農業情報処理(実教出版)		副教材	30時間でマスターOfficeXP(実教)	学年	第2学年	
指導者	川島 一秀・滝澤 容子			学科	バイオテクノロジー科		

学期	月	学習項目等	学習のねらい	予定	実施項目及び反省点	実施	備考
1 学期	4	・オリエンテーション ・表計算ソフトの機能と操作(エクセルの基本操作) ・課題研究に向けた演習 ・データの入力と訂正 ・表の保存と読み込み	授業内容の理解 表計算ソフトの機能と操作理解 データの種類と入力方法等理解 ファイルの取扱理解 演算子、セル番地の理解	9			提出物(A・C)
	5	・計算式の入力 ・表の編集と印刷 ・基本的関数を使った計算 ・グラフ作成の基礎 ・基礎実習	書式の変更、罫線の利用と印刷 Sum,Average,max,min関数等の活用 グラフの種類と利用方法の習得 グラフを含んだ表の作成	9			試験(C,D)
	6	・応用的関数を使った計算 ・データベースの基礎	If,Lookup関数等の活用方法習得 データベースの概念理解 Rank関数、ソート方法の習得	14			提出物(A・C)
	7	・データベースの活用 ・データの検索、抽出 ・応用実習	データの検索と抽出方法習得 エクセル検定2級レベルの問題 Webと表のデータ交換方法	6			試験(B・C・D) 提出物(A・D)
2 学期	8	・エクセルの総復習	エクセルの総合的な理解	2			提出物(A・C)
	9	・応用的関数を使った計算 ・データベースの基礎	If,Lookup関数等の活用方法習得 データベースの概念理解 Rank関数、ソート方法の習得	10			提出物(A・C)
	10	・パワーポイントの基本操作 ・スライドの作成 ・スライドショー	文字の入力と編集方法習得 画像の挿入方法習得 スライドショーの方法習得	11			試験(B・C・D) 提出物(A・D)
	11	・プレゼンテーションの作成実習	課題研究計画発表用プレゼンテーションの作成	11			提出物(A・C)
	12	・プレゼンテーションの作成実習	課題研究計画発表用プレゼンテーションの作成	9			試験(B・C・D) 提出物(A・D)
3 学期	1	・プレゼンテーション ・ネチケット ・webページの作成	パワーポイントによる総合実習(課題研究計画)の研究発表 ネットワークに関してその功罪を理解する 簡単なhtmlファイルの作成	8			提出物(A・C)
	2	・情報処理まとめ	平成22年度の課題研究のプレゼンテーション原稿を作成する	9			試験(C,D) 提出物(A) 研究発表(B)
	3	・情報処理まとめ	平成22年度の課題研究のプレゼンテーション原稿を作成する	7			提出物(A・C)
			予定時間合計	105	実施時間合計		

## 第5 農業情報処理

1 目標  
社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解させ、情報処理に関する知識と技術を習得させるとともに、農業の各分野で情報及び情報手段を活用する能力と態度を育てる。

- 2 内容
- (1)産業社会と情報
    - ア 情報とその活用
    - イ 農業の各分野における情報の役割
    - ウ 情報モラルとセキュリティ管理
  - (2)農業における情報手段の活用
    - ア ハードウェアとソフトウェア
    - イ 情報システム
    - ウ マルチメディアとデータ
  - (3)農業における情報の活用
    - ア 情報通信ネットワーク
    - イ 生産,加工,流通のシステム化
    - ウ 農業情報の活用

3 内容の取扱い

(1)内容の構成及びその取扱いに当たっては、次の事項に配慮するものとする。

ア 内容の(1)については、農業分野を中心に産業社会における情報の活用の具体的な事例を通して、情報の意義を理解させるとともに、農業の各分野における情報の役割について関心をもたせること。

イ 内容の(2)及び(3)については、実習や産業現場の見学等を通して、農業の各分野において、情報と情報手段を活用する能力を育てること。なお、学科の特色や生徒の実態等に応じて、内容の一部に重点を置くなどの工夫を加えること。

(2)内容の範囲や程度については、次の事項に配慮するものとする。

ア 内容の(1)のA及びイについては、高度情報通信社会の特質、情報とデータの意味と性質並びに農業の各分野における情報の収集、処理及び活用の基本的な内容を扱うこと。ウについては、著作権やプライバシーの保護など情報モラルの必要性和個人情報セキュリティ管理の重要性について理解させること。

イ 内容の(2)については、目的に応じた情報機器やソフトウェアの選択、アプリケーションソフトウェアの使用法、農業情報に関するシステムの活用及びマルチメディアとデータについて基本的な内容を扱うこと。

ウ 内容の(3)については、情報通信ネットワークを活用した情報の収集、処理、発信、農業の各分野におけるシステム化及び農業技術や経営に関する情報の活用を扱うこと。